

第1回 建設産業戦略会議 議事概要

日 時：平成22年12月17日（金）13：00～14：30

場 所：中央合同庁舎3号館 4階幹部コーナー会議室1

- 冒頭、大臣より、「右肩上がりの時と同じやり方では建設産業は衰退していくばかりであり、建設産業のあり方そのものに徹底的な議論を重ねて頂きたい。災害対策等、地域の担い手である建設業が誇りを持って仕事をできる環境整備が必要であり、建設産業の見直しについて果敢に取り組んで頂きたい」旨のご挨拶があった。
- 各委員から、建設産業の現状、課題等について、以下のようなご発言があった。
 - ・ 建設投資の減少により需給バランスが崩れて建設産業は苦しんでいる。
 - ・ 地域において、災害復旧を担う企業や機械が確保できなくなっている。これまでの透明性、公平性ということだけでなく、地域の安全保障ということから、新たな枠組みを作ってほしい。
 - ・ 今後維持更新需要が増加したとき、技能労働者不足が最大の問題。
 - ・ 公共工事では保険加入を競争の前提とすべき。
 - ・ 海外展開については、日本企業は、純施工技術のみで勝負しており、マネジメント力が課題。
 - ・ 民間は発注者の問題も大きいですが、規制が全くない。
 - ・ 重層下請構造、雇用の問題も課題。
 - ・ 基本的な問題意識は建設産業2007の策定時と変わらない。

【今後の予定】

- 次回は12月24日（金）に開催し、主な建設業団体よりヒアリングを実施することとなった。